

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報

2010.2.25

No. 67

連絡先

FAX 042-555-1911



2010年度の米軍再編経費 横田基地関連は なんと 309億円！

2010 年度予算案に計上されている米軍再編経費は 1320 億円（歳出ベース）ですが、横田基地への空自司令部移転等は 309 億円であることが分かりました。日本共産党の赤嶺政賢参議院への防衛省の説明で明らかになったものです（「しんぶん赤旗」2/16 付）。

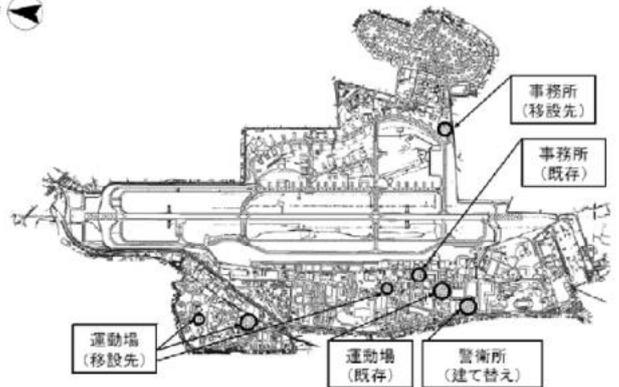
ミニ情報No. 64 で「横田基地関係の米軍再編費がなかなか明らかにならない、抑止力の維持に資する措置 333 億円の詳細が分かっていないから」と書きました。309 億円なら納得です。

ところが、防衛省のホームページには、「抑止力の維持に資する措置 128 億円」「横田飛行場への航空自衛隊航空総隊司令部等の移設 56 億円」と出ています。出所はみな防衛省。どう解釈すれば良いのでしょうか。防衛省は国民に分かるよう正確な情報を提供してほしいものです。

横田基地 警衛所等18棟の移設工事が日米合同委員会(2/18)で合意

米軍再編で、警衛所等 18 棟、延べ約 2,500 ㎡の既存施設の移設工事を実施するというものです。

●警衛所 1 棟約 1,030 ㎡ ●警衛所の附帯設備（衛兵所 5 棟約 70 ㎡、屋根 3 棟約 360 ㎡、監視塔 2 棟約 20 ㎡、商用車両検問所 1 棟約 230 ㎡、自転車置場 1 棟約 20 ㎡） ●事務所 1 棟約 640 ㎡ ●事務所の附帯設備（休憩所 1 棟約 60 ㎡、自転車置場 1 棟約 20 ㎡） ●運動場の附帯設備（ダックアウト 2 棟約 30 ㎡、運動施設一式）が合意されました。



グアムのアンダーセン空軍基地と周辺空域で日米共同訓練（コープノース・グアム）

米側の指揮官は、横田の第13空軍第1分遣隊長のラリー・バウアーズ大佐

（朝雲新聞 2/11 付記事より）米グアムのアンダーセン空軍基地とその周辺空域で 2 月 7 日から、日米共同訓練「コープノース・グアム」が始まった。実質的な共同訓練は同 19 日まで。

同訓練は平成 11 年からほぼ毎年行われており 10 回目。参加部隊は空自が 8 空団（築城）飛行群司令の西村弘文 1 空佐を指揮官に、8 空団と警空隊（三沢）から計約 230 人と F 2 戦闘機 8 機、E 2 C 早期警戒機 2 機。米側は第 13 空軍第 1 分遣隊長のラリー・バウアーズ大佐を指揮官に、太平洋空軍第 11 空軍第 354 戦闘航空団第 18 教導飛行隊（アラスカ州アイルソン基地）の F 16 戦闘機 10 機程度、第 8 空軍第 2 爆撃航空団第 20 遠征爆撃飛行隊（グアム・アンダーセン空軍基地）の B 52 爆撃機 2 機程度、米海軍第 5 空母航空団第 136 戦術電子戦飛行隊（厚木）の EA 6 B 電子戦機 2 機程度。

空自 F 2 は築城から直行、E 2 C は百里と硫黄島を経由して 5 日にグアムに到着。慣熟訓練の後、戦闘機戦闘、防空戦闘、空対地射爆撃の各訓練に臨んだ。

空自が国外で実弾による空対地射爆撃訓練を行うのは同訓練のみで今回で 5 回目。17,18 年度の F 4 E J 改戦闘機に代わって 19 年度からは F 2 戦闘機がグアム島周辺のファラロン・デ・メディニラ島にある空対地射場で 500 ポンド爆弾を使った空対地射爆撃訓練を実施している。展開と撤収は 1 輸空（小牧）の C 130 H 輸送機が人員や物資の空輸を担当。

高江から緊急発進 やんばるで何が起きているのか？

(No. 67 裏面)

沖縄県・東村高江区への米軍ヘリパット建設問題で、政府は現場で座り込みを続ける「住民の会」の代表 2 人を那覇地検に提訴しました。2 月 1 日には、沖縄防衛局が現地で住民説明会を開き、「工事再開」に理解を求めました。住民の不安や疑問には答えず、理解だけを求める国側の姿勢に、「国民をばかにしているのか」「区民の総意は反対。一方的な着工は許さない」など、怒りの声が次つぎと上がりました。その様子は平和新聞 2 月 15 日号に載っています。

以下、大西照雄さんのブログ「宝の海」より抜粋します。写真も大西照雄さん提供です。

いよいよ牙をむき出してきた

民主連立政権—高江説明会

高江の仮処分決定 1 年以上かかった。国は本裁判に入った直後、高江の説明会。沖縄防衛局 100 人以上でガード固め弁護団も締め出し強硬。新聞記者も締め出すやり方は沖縄防衛局の一貫した方針、民主党政権になってむしろ異常である。10 人の集落に 100 人の配置。

緊急発信 防衛省高江工事強行

闘い始まる—19日の高江

N 4 に門とコンクリート設置 N 1 は境界線に新しい縄
今日の報道でシュラブ陸上に 5 0 0 m の滑走路建設案出た。アセス法含めてすべての法律に縛られない姑息なもの、これが政府のやることか。

高江から緊急発進 小さな村の大きな闘いとは！

全県・全国の目と支援を求める

高江の現場に見える 殺してでも基地建設？

朝 7 時に出た。8 時に高江 N 1 についた。11 時 30 分名護署公安到着、防衛省来ない。公安「防衛省約束守らない」とぼやく。キャンピングカーで仮眠する。テントの中ではブリの大根お汁が煮え、昼食。

今日、防衛省人数減らし、業者多し。去年の現場責任担当見えず。業者をにらみつけ、命令通りせよ（と言う）。トンブロックの基礎を打って引き揚げた。（3 時）。

* 「地元の意向が優先される見通しは今回もない。」「首相官邸高官の『どこに移設すると言っても受け入れ先は反対する。死ぬ気で反対してこない限り、地元の意向は反映されない』と話す」との報道（2 月 21 日朝日新聞）があったようです。宝の海は、〈政府はヤクザより悪い。防衛省現場担当官に「00 さん、命奪っても強行せよと指示受けているのか。沖縄県民はイチムシ（虫）だから、殺してもいいという方針か。私のような老人は貴方がたに、殺されてもいい。私はあなた方を傷もつけない、触りもしない。」「激しく詰め寄った。〉と書いています。ブログから沖縄の闘いが見えてきます。



辺野古新基地建設計画の中止と普天間基地の無条件返還を求める請願

署名のお願い… 名護市では辺野古新基地建設反対の市長が誕生しました。民意を尊重すべきです。普天間基地は、戦争中に住民を強制的に収容所に入れ、役場も住宅も壊してつくった国際法にも違反する基地です。政府やマスコミの“普天間基地無条件返還の世論封じ込め”に反撃しましょう。